

記載例1 秘匿決定申立書（人訴）

※□の部分は、該当するものにチェックしてください。

基本事件：令和___年（家ホ）第_____号 _____請求事件

※ 訴状と同時に提出する場合には上記事件番号の記入不要

基本事件原告 霞が関 花子

氏名秘匿の場合は、「代替氏名 A」と記載してください。

基本事件被告 霞が関 太郎

収入
印紙
500円

秘 匿 決 定 申 立 書

令和___年___月___日

東京家庭裁判所 御中

氏名が秘匿事項の場合は、「代替氏名 A」としてください。この場合、押印は不要です。

申立人（基本事件原告被告）代理人 霞が関 花子 (印)

上記当事者間の頭書事件につき、申立人は、民事訴訟法133条1項に基づき、秘匿決定の申立てをする。

申立ての趣旨

上記当事者間の頭書事件について、申立人の住所・氏名・_____を秘匿するとの決定を求める。

申立ての理由

申立人の住所・氏名・_____について、基本事件原告被告に知られると、別紙のとおり、社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれがある。

よって、申立人は、民事訴訟法133条1項に基づき、申立ての趣旨記載のとおり、秘匿の決定をされたく、本申立てをする。

疎明資料

- 支援措置決定通知 1通
- 診断書（抄本） 1通
- 写真 3通
- _____ 通

秘匿事項を推知させる情報（病院名等）はマスキングの上、提出してください。

※申立ての理由、社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれを具体的に記載してください。

(別紙)

申立人は、・・・【具体的な理由を記載。】・・・・・・・・
・・・・・・・・。

秘匿事項・秘匿事項を推知させる事項は記載しないでください。